

日米交歓ディベート 全米代表日本ツアー 2019 in MIYAZAKI

(Japan-US Exchange Debate Japan Tour 2019 in Miyazaki)

1. 目的

アメリカ人ディベーター・コーチとの交流を通して、生徒の実践的コミュニケーション能力の育成を図ると共に教職員の見識を深め事後の指導に活かす手立てとする。

2. 主催

日本ディベート協会 宮崎県高等学校教育研究会英語部会

3. 特別協賛 協力団体

GTEC
米国コミュニケーション学会 国際ディスカッション・ディベート委員会
全国高校英語ディベート連盟

4. 期 日

令和元年6月13日(木) 9:30 ~ 15:10

5. 会 場 日 程

宮崎県立図書館 (宮崎市船塚3丁目210-1 電話 0985-29-2911)

9:30-9:40

受付

9:40-9:50

開会行事

9:50-11:00

講演・質疑応答

講演題「ジェンダー(文化的・社会的役割としての性)とコミュニケーション」

11:10-12:00

ディベートデモンストレーション

・昨年度県英語ディベート大会 優勝校 宮崎南高校の生徒のみなさん

・2019年日米交歓ディベート全米代表チーム2名

・HENDAが定める高校生英語政策ディベート論題 昨年12月全国大会での論題

Resolved: That Japan should legalize voluntary active euthanasia.

日本国は、本人の意思による積極的安楽死を合法化すべきである。

12:00-13:10

昼食

13:10-14:00

ディベートデモンストレーションのコメント・質疑応答

14:10-15:00

高校生の為のディベートワークショップ

15:00-15:10

閉会行事

6. コーチ・ ディベーター

米国チーム・ツアー・コーチ

Dr. Ruth J. Beerman (Ms.)

ランドルフ・メイコン大学 (Randolph-Macon College)
コミュニケーション学部 助教授、ディベート・スピーチ部
監督 (Assistant Professor of Communication Studies,
Co-Director of Debate and Forensics)、博士 (Ph.D)

全米代表ディベーター :

Ms. Caroline Kouneski, Randolph-Macon College (ランドルフ・メイコン大学)

Mr. Colten White, University of Nebraska-Lincoln (ネブラスカ州立大学リンカーン校 卒)

宮崎南高校チーム：昨年度宮崎県高校英語ディベート大会優勝校

山本 なつみ (3年) 田中 佑果 (3年)

相田 成美 (2年) 井野 胡花 (2年)

楠 芽依 (2年)

古川 公貴 (2年)



Dr. Ruth J.
Beerman



Ms. Caroline
Kouneski



Mr. Colten
White

Kyusyu



Fukuoka

九州・沖縄地方全図



Kagoshima

MIYAZAKI

宮崎県
シンボルキャラクター
みやぎき犬



しい むう かま